

# 滝上の人

## 人の出会いを大切に想う

今回は、札久留 村田隆之さんにスポットをあてていきます。

村田さんは、昭和26年、滝上町雄鎮内生まれの69才。4人兄弟の長男です。

家業は畑作農家でしたが、村田さんが生まれた年に乳牛を導入し、3才の時に、現在の札久留の地に移転。幼い頃

から乳牛と一緒に生活を送っていました。

親の手伝いをしながら、乳牛の世話が好きだという思いがあり、小学校6年生の時には酪農の仕事を継ぐことを決意していました。スポーツは夏は野球、冬はスキーに親しみ、活発な少年時代を過ごしたそうです。



「ふれあい広場・健康まつり」で主催者あいさつする村田さん

学生時代について教えてください。

札久留小、札久留中で学び、農業を専門に学ぶため、江別市にある酪農学園機農高等学校(当時)に進学しました。

3年間、寄宿舎生活を送りながら農業を学ぶ一方で、野球部に所属しました。高校球児の憧れである、甲子園を目指して、熱心に野球に取り組んだことが、今でも良い思い出です。

仕事や地域活動について教えてください。

高校卒業後、滝上に戻り、家業の酪農に従事し、以来50年、酪農を続けてきました。就農後は、酪農の技術向上を目指して、道の農業改良普及員らの技術支援などを受けながら20代、30代は色々と技術的な改良を試みたものの、結果が出ずに苦労した時期でした。継続して仕事に取り組みながら、40代でようやく成果が出てきて、50代になり、自分の夢(理想)が形になりました。

これは、現在の農業経営につながっています。

農業を営むかたわら、昭和40年、50年代の頃は、農業青年(4Hクラブ)の活動も盛んで、勉強会や研修を通し仲間同士絆を深めました。

また、その頃は今より農業を営んでいた世帯も多く、地域ごとにおまつりを開催。

札久留では、おまつりが春秋2回あって収穫祈願と感謝の意を込めて、地域総出でおまつりを行っていた思い出があります。

地域での活動は、町や教育委員会から委嘱を受け、これまで体育指導員や町有林野経営審議会、農業委員などの公職をお引き受けしました。

また、滝上町社会福祉協議会の理事に推薦され(現在会長職)、現在は、社会福祉の事業についても関わらせていただいています。

これまでの地域での活動を通して、知り合いとなった方も多く、若い頃から何十年とのお付き合いの方もいて、人のつながりは、かけがえない大切なものだと思います。

皆さんにひとことお願いします。

地域の中で、多くの方の助けがあって今日があり、感謝の気持ちでいっぱいです。特に結婚してから、4人の子供の子育てをしている頃は地域の皆さんに大変お世話になりました。

これからの人生、お世話になった方(既に他界された方も多いですが)に、少しでもお返しが出来ればと思っています。



村田牧場の皆さん